

広島大学附属東雲小学校 入学式

式 辞

新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。今日から皆さんは、広島大学附属東雲小学校の一年生です。保護者の皆様、お子様のご入学について、心よりお祝い申し上げます。新入生の皆さんは、これから始まる小学校での生活を、楽しみにしてくれていることと思います。附属東雲小学校の二年生、三年生、四年生、五年生、六年生の皆さん、そして先生たちも、新入生の皆さんを、とても楽しみに待っていました。

小学校では、初めて見たり、聞いたりすることや、初めて自分ですることがたくさんあります。最初は、よくわからないことがあるかもしれませんが、先生方や、上級生の皆さんが、優しく教えてくれるので、心配せずに、楽しみにしててください。附属東雲小学校の一年生には、一組、二組、複式学級、特別支援学級の四つのクラスがあります。みんなで一緒に学習したり、遊んだり、給食を食べたり、運動したりします。上級生の皆さんと、一緒に楽しむ活動も、たくさんあります。

先生たちは、皆さんが、附属東雲小学校での生活を通して、次のような五つの心を大事にする人になってほしいと願っています。それは「素直な心」「感謝の心」「反省の心」「謙虚な心」「奉仕の心」です。これは四十年以上前から附属東雲小学校で大切にされてきている「しのめ五心」です。

附属東雲小学校は今年、創立百五十年を迎える歴史と伝統のある学校です。これは戦後に誕生した新制・広島大学よりも長い歴史をもち、附属東雲小学校は広島大学の起源の一つにもなっています。「しのめ五心」は、広島大学の中でも最も古い歴史をもつ附属東雲小学校の中で育まれてきた五つの心ということになります。

もう一つお話をします。皆さんの附属東雲小学校は、世界的に認定された「ユネスコスクール」でもあります。「ユネスコ」とは何だろう、「ユネスコスクール」とは何だろう、と不思議に思うかもしれません。詳しくはこれから少しずつお話をしていきますが、ここでは「ユネスコ」が定める「ユネスコ憲章」という取り決めの中の最初の文章を紹介します。それは「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」です。

被爆八十年をおかえる今も、世界では戦争や紛争が続いています。「ユネスコ憲章」を大事にする「ユネスコスクール」でもある附属東雲小学校の一人一人が、世界の人々とともに「いのち・こころ・からだ」を大切に、世界の平和を願う人になってほしいと期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様にお願い申し上げます。本校は、落ち着き、安心、信頼の中でエネルギーと人間性が発揮できる学校を目指しています。保護者の皆様と私たち教職員とが絶えず力を合わせ、本校を支えてくださる同窓会、教育後援会、PTA、地域の皆様の、ご理解、ご支援、ご協力をいただきながら、「東雲家族」「チーム東雲」「ワンチーム・ワン東雲」として、児童一人一人の自己実現・成長を見守って参りましょう。どうぞよろしく願い申し上げます。

新入生の皆さんの、一層の成長を祈念し、学校長の式辞と致します。

令和7年4月10日

広島大学附属東雲小学校長 永田 忠道